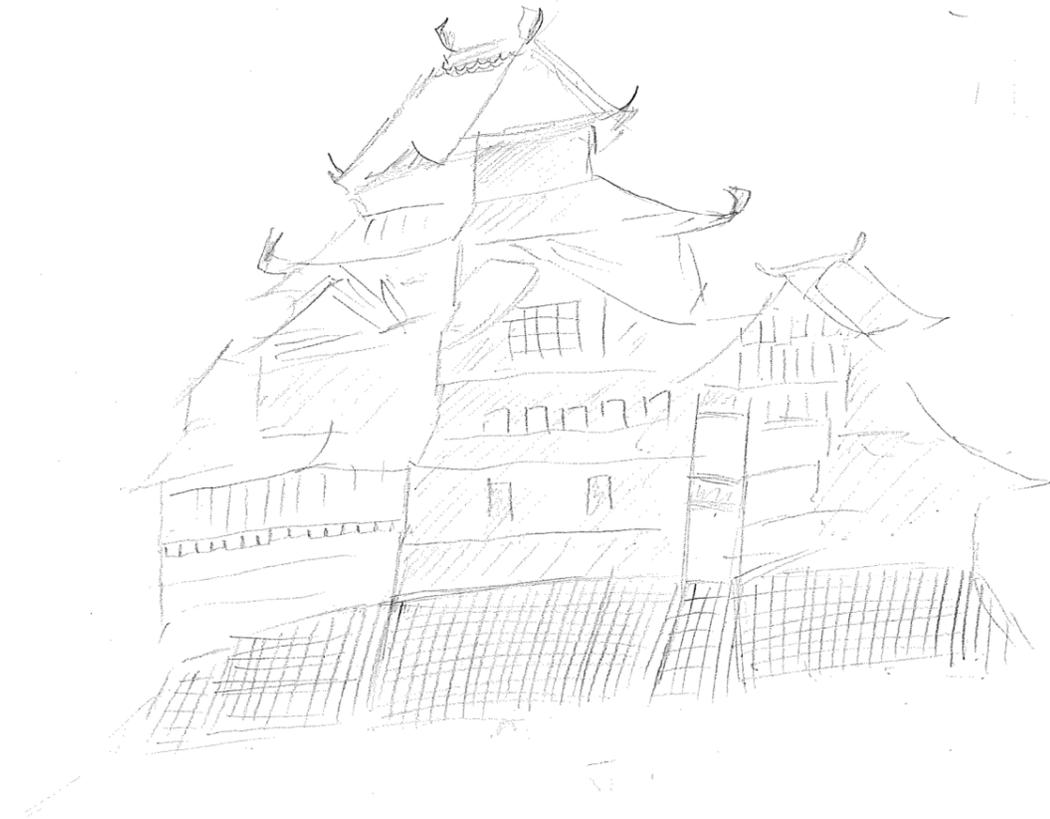


# 城風図書館

- ・外装は、古風の日本城、スケールは小さめ
- ・いちほこの部分が本のオブジェ
- ・本をカウンターを通さずにて、スマホのアプリと連携し、借りられる
- ・本を買う
- ・月額 500円、隣接しているカフェのドリンクバー使用可能
- ・ポストで返却できる
- ・本の買い取り

システム



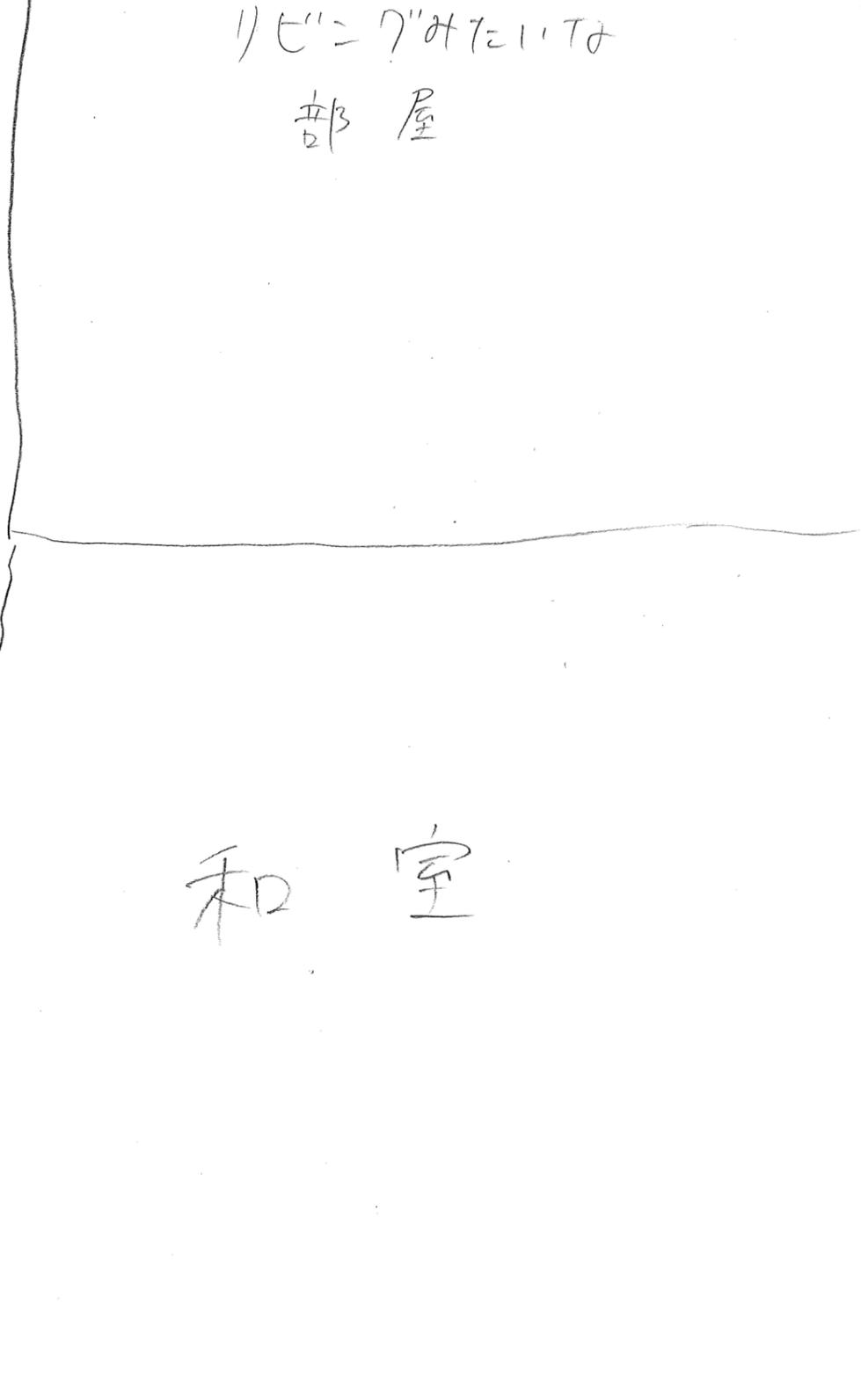
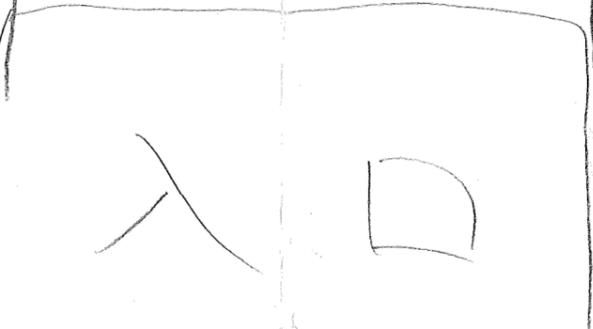
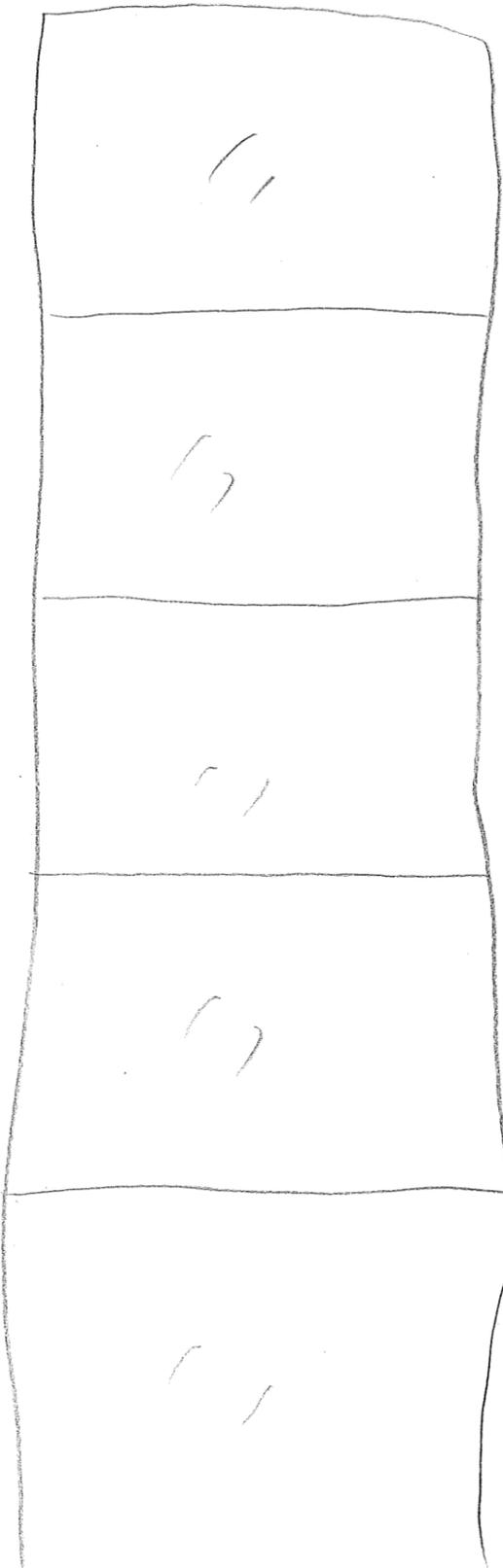
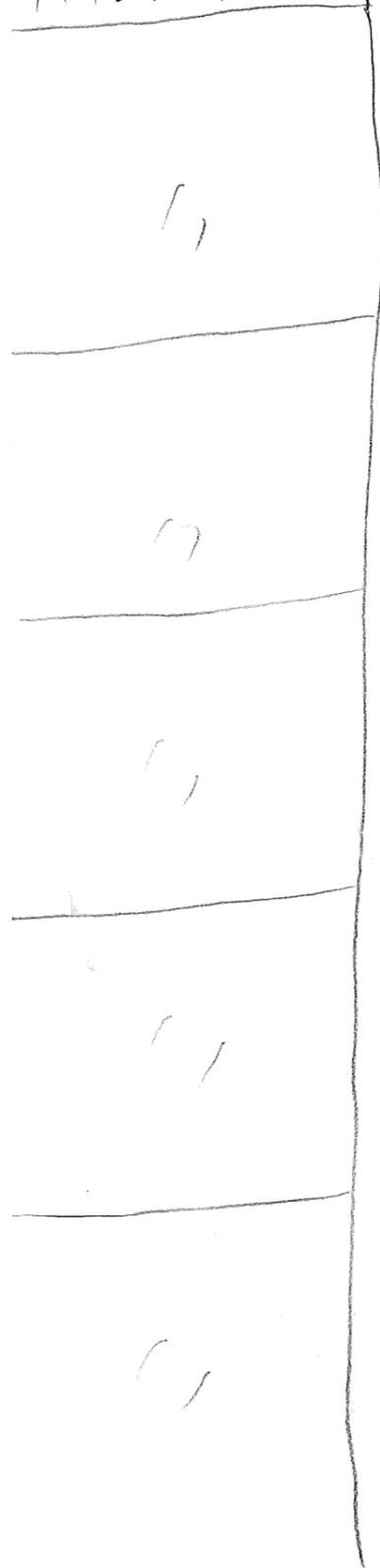
個室

パソコン付き

個室にはパソコンを  
つけたら勉強が見  
やすくなる。

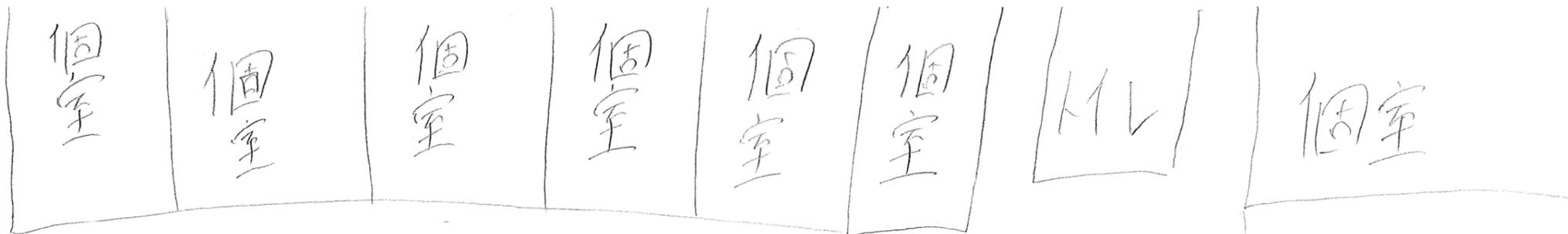
和室では、落ちつ  
いた空間で読書で  
きます。和室では  
パソコンを。

ここでは、ゆったり  
読書ができます。  
パソコンはいい。



リビングみたいな  
部屋

和室



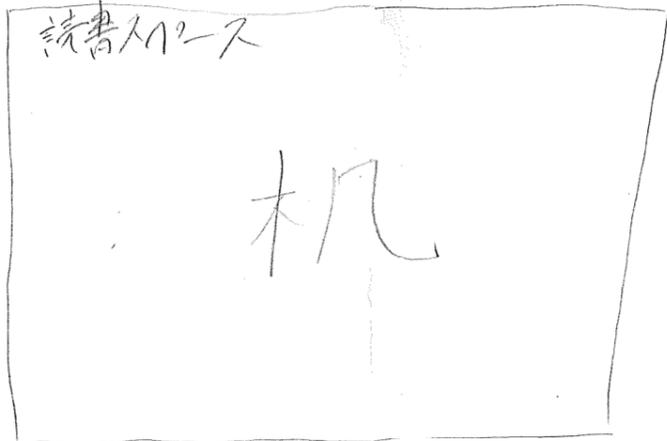
本

消毒

消毒

個室

パソコン

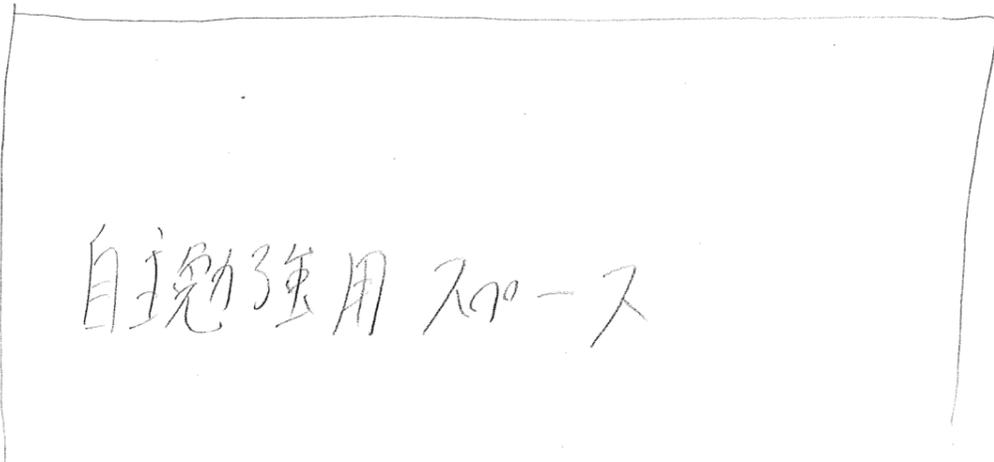


絵本

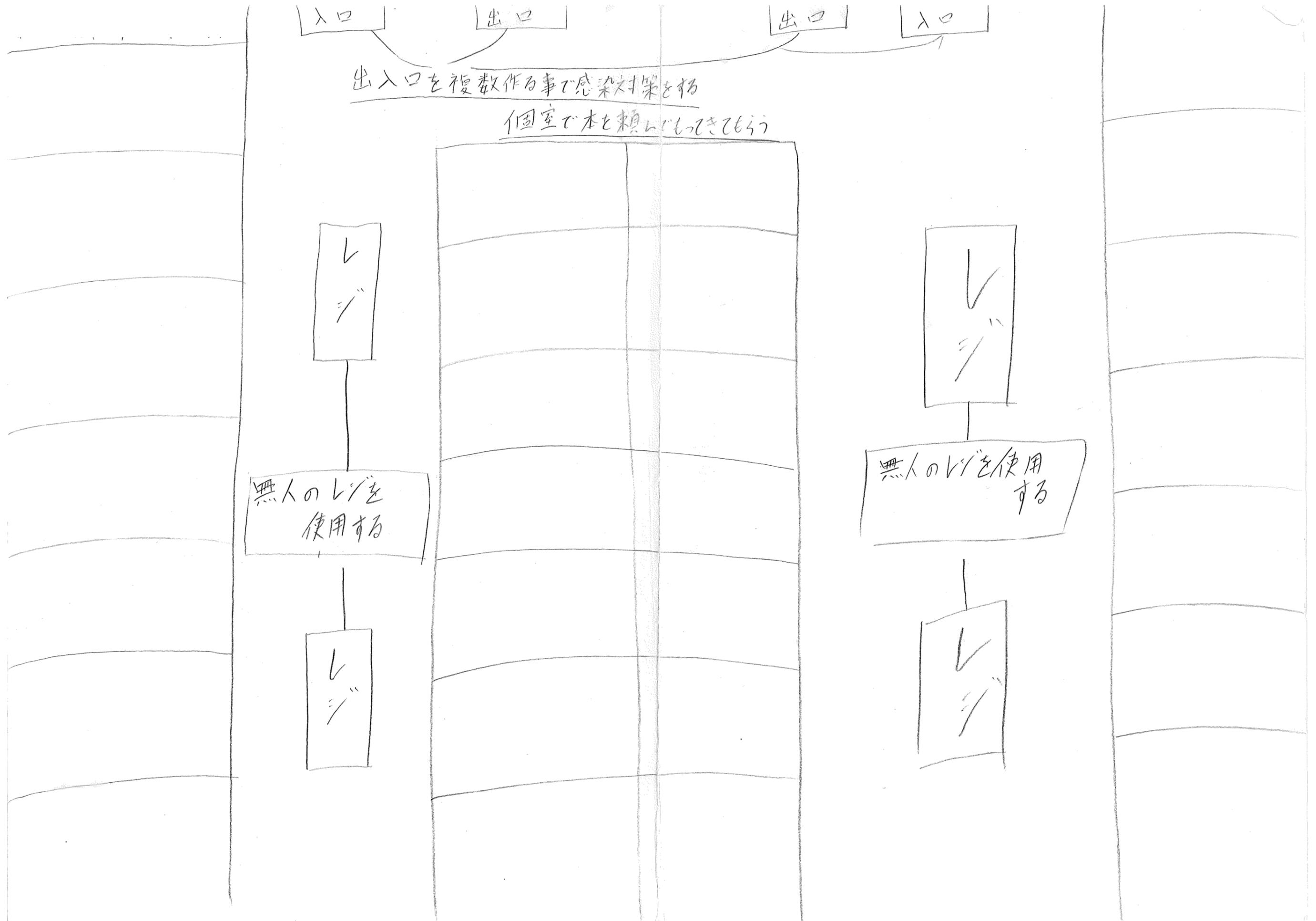
無人の  
机

無人の  
机

本



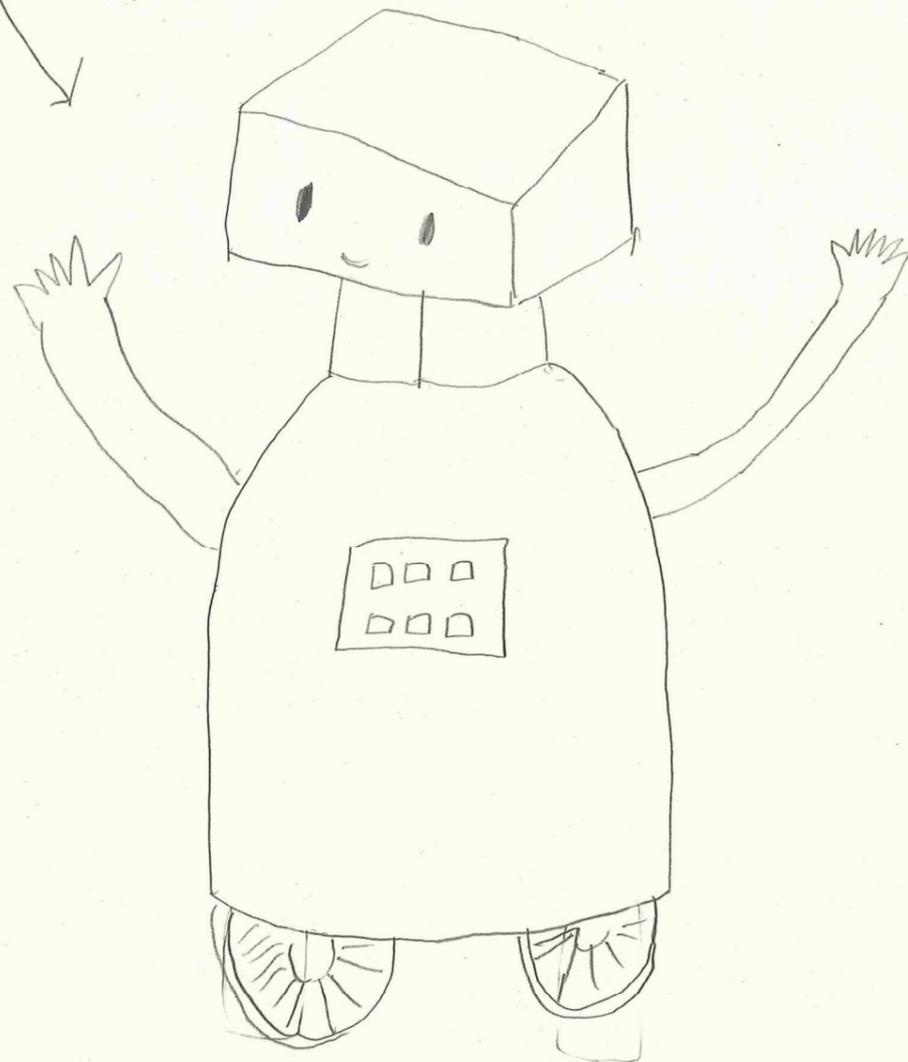
本

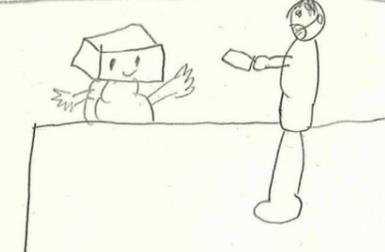
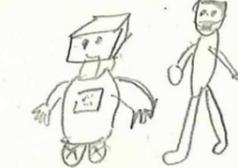
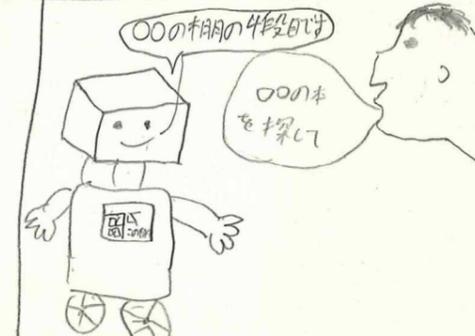


今年はコロナで、通常通りの営業などができず、感染対策をしなければ、けません。消毒やマスクなど、多くの制限がかかります。ですが、結局は人と接触したりしなければいいのです。そこで思いついたのが、

ペッパーくんやMUSIOなど「**ロボット (AI)**」です。

こんな感じのロボットにデータをインポートして案内や本の<sup>土</sup>金<sup>土</sup>索  
本の貸し出しをしてもらえば負担はかかることは、  
おな<sup>い</sup>とおも<sup>い</sup>ます



貸し出しの時	案内の時	金索の時
		
<p>貸し出で、バコードスキャナーなども取り付けておけば、とても便利だと思います</p>	<p>タイヤなどの物の移動手段を、つけておくことでお客様と一緒に行動できる</p>	<p>音声感知を取り付けておくと、ふたつで検索できるよになる。</p>

さらにロボットであればコロナ期間が過ぎ去っても、何かする必要がないという点でも僕はロボットを追加した方が良く思います。

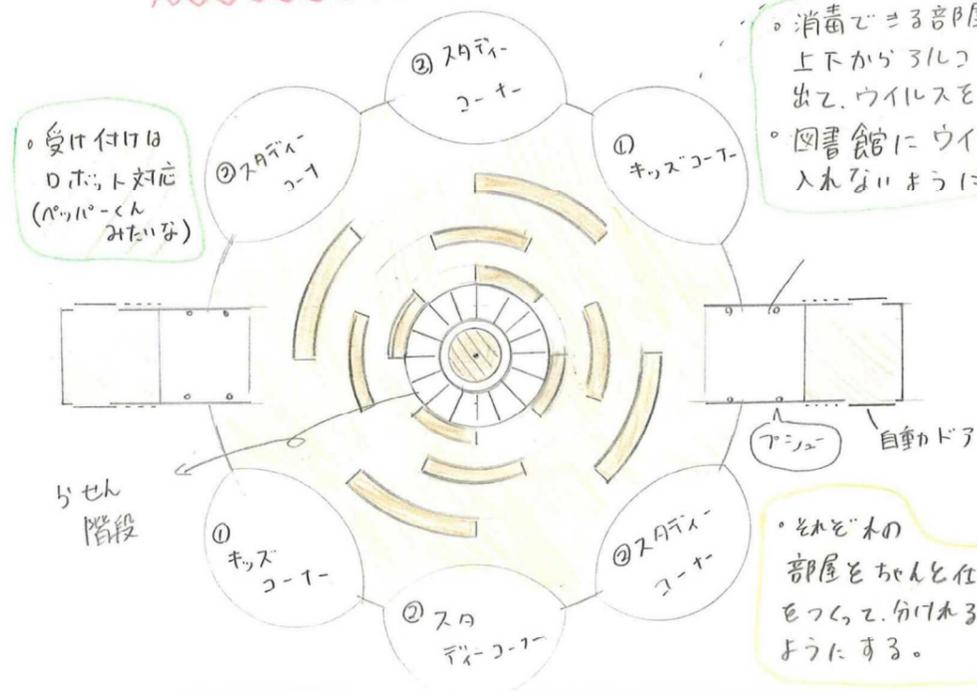
これからの時代ロボットの仕事が「土増えていく」と思いますが、図書館もその一つだと僕は思いました。

# ウィズコロナ、アフターコロナの新しい県立図書館

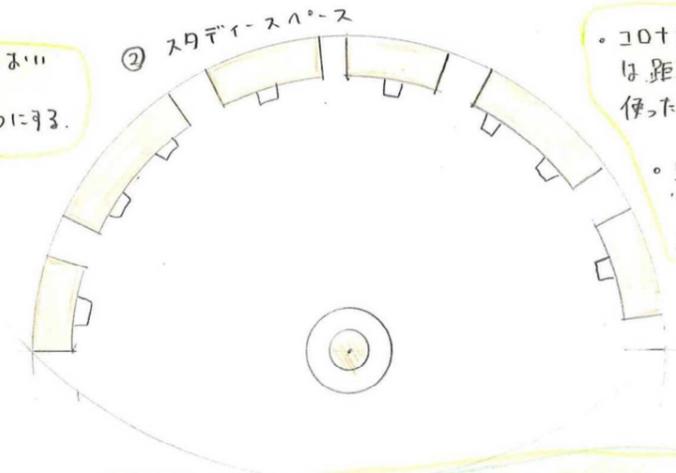
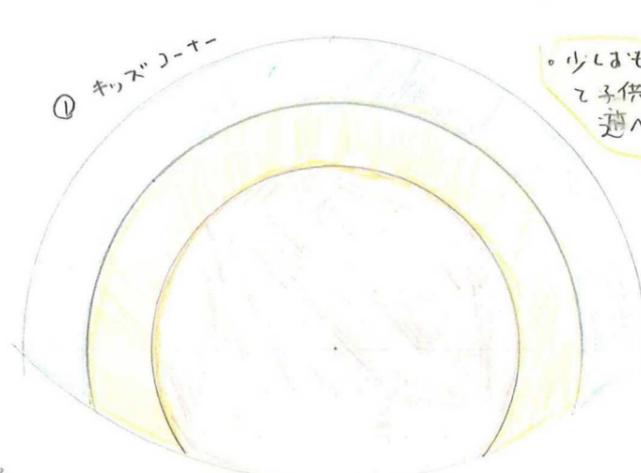
- ・ソーシャルディスタンスしながら人を感じられる
- ・室内でも室外でも自然を感じられる優しい図書館

## <ポイント>

- ・コロナ対策
  - ↳ 3密を避ける (換気・ソーシャルディスタンス)
  - ↳ 消毒をする (本の消毒・アルコール)
- ・近未来的 (ガラス・ロボット)
- ・自然を感じられる



- ・円形だからやわらかくて優しい「イキジ」。まわりのホコホコに  
スタディールームとキッズルームを作って部屋を分けた。
- ・2つのドアをつけて、出口と入口を分ける。⇒人との交差を避ける。
- ・入口の次に消毒スペースをつけて全身を消毒出来るようにする。
- ・まんなかの木に少し触れるように、なるべく近くに手すりをつける。



- ・読み聞かせの時密集しないように  
一定の距離をあけるようにする。
- ・赤から青にかけてだんだん高くなるようにする。  
↳ 話が聞きやすくなるように。

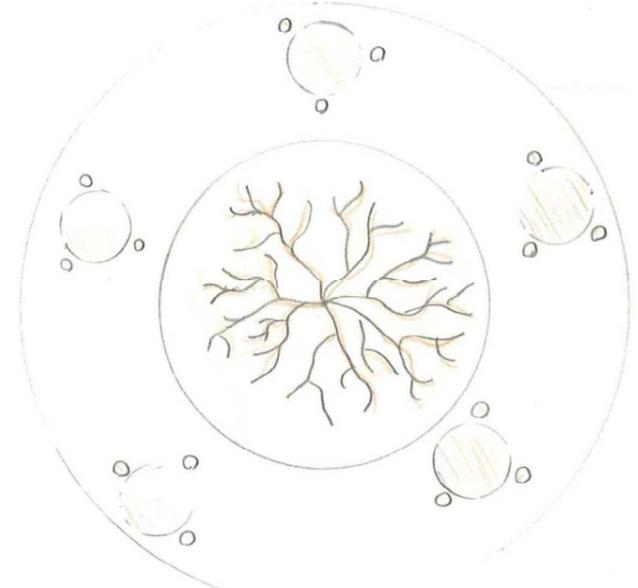
- ・机の長さをスライドして調節できるようにする
- ・1つ1つの机との間の距離をとる。
- ・集中できるようにすべての机を外むきにする  
↳ おけいな物が見えないようにする
- ・勉強スペースだけ、1つの部屋として分ける。

- ・机を増やして可動する席を増やす。
- ・仕切りをつくらせて集中出来るようにする



- ・なるべく窓を大きく増やして換気できるようにする。  
中に大きな木を入れて自然を取り入れる。  
屋上に大きなドームを作り中にカフェを作る。  
↳ 密にならないように席を固定する。
- ・ドームを作ることでより優しくやわらかい「イキジ」をつくる。

■ ... ウィズコロナ ■ ... アフターコロナ



- ・借りた本を読みながら、ゆくり出来る  
ようにする。
- ・木を見れるようにおん中に吹き抜けをつくる
- ・まわりが見えるようにドームはガラスはりに。
- ・席を固定する: ことにより人との距離を決める

- ・席を増やして、たくさん人がくつろげる  
ようにする。
- ・カフェをつくらせて、お茶出来るようにする。

# コロナ対策、たくさんの方が安全で使いやすい図書館

## ・コロナの対策として

アルコール消毒、検温、を入口でできるようにする。

人との距離を保つように本棚と少しずらす。

定期的に換気、ただ窓を開けるのではなく対角線上に



## ・図書館をいろいろの人が楽しめよう！

図書館に行くと時読みたい本が見つからない、たまたまがあります。これは自分たちだけでいいと思います。

蔵書が多々いても需要が無いと意味がありません。

例には

今、流行りの本を置いていく。

3ヶ月に一回本を入れ変える。(アンケートや利用者が欲している本を積極的に入れる)

本を少し減らす。本が多すぎて見ている方には良いんですが、いざ本を言売もうとすると見つけたのが大変で見つけてもこれじゃないとなり面倒になってしまいます。

古い本ばかりでなく、最新の本も置いていく

最近の人はあまり古い本を言売まなうというのが自分の中で感じています。

新しい知識や情報が手に入る。

小学生、中学生、高校生、大人、園児などの区画を作りそれぞれに合った本を並べて目に入りやすくする。

# 新しい県立図書館

今、世界で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。感染拡大の観点から様々な行動が制限されています。そんな中、図書館に行きたくても行けないう人も多いのではないのでしょうか。そこで私は、ウィズコロナ・アフターコロナに対応したアイデアを考えてみました。私が考えたアイデアは設置されているタブレットから本を選択し回転寿司のように本が運ばれてくるというものです。このシステムにはいくつかの良い点があります。

- ① ずっと席に座っていれば良いので他の人との接触がなく感染のリスクが低いということ。
- ② タブレットに皆が何を読んでいるかというような情報を読み込めるようにすれば、人気の本や興味のある本を見つけやすくアフターコロナにも対応できるのではないかと思います。

簡単なことだけを挙げてみましたが、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した良いシステムだと思います。ただもちろん悪い点もあります。例えば本を運んでくる時に本を傷つけてしまう可能性があります。たり、本やタブレットを丁寧に消毒しないと新型コロナウイルスに感染してしまう可能性があります。ということです。

このように悪い点もありますが、現在のウィズコロナや今後のアフターコロナに対応したようなシステムを作るには上記のような奇抜な発想が必要なのかなと思います。

# To the beginning of a new reading life

～コロナに対応、すべての学ぶ人へグッとくる一冊を。～

## ○コロナに対応する図書館として

検温 → 体調チェック → 問題なければ入館を許可する。この行程を必ず行う。

## ○どの学生の人でも楽しめるようにたくさんのコーナーを設置。

例えば...

小学生以下にオススメ!! 「楽しく学べるコーナー」

こんな本...

- ・からだのふしぎ けがとびょうきのナゾ
- ・もののしくみ 図鑑 など

小学生にオススメ!! 「冒険ファンタジーコーナー」

こんな本...

- ・ハリー・ポッター シリーズ
- ・魔女の宅急便 など

中学生にオススメ!! 「夢中になれる小説コーナー」

こんな本...

- ・世界は「」で満ちている
- ・リアル鬼ごっこ
- ・推理小説
- ・恋愛小説 など

高校生にオススメ!! 「内容が深い・考えさせられる小説コーナー」

こんな本...

- ・誰かのための物語
- ・僕は僕が書いた小説を知らない
- ・生きてさえいれば など

大学生にオススメ!! 「堅くならずに読める、大人の小説コーナー」

こんな本...

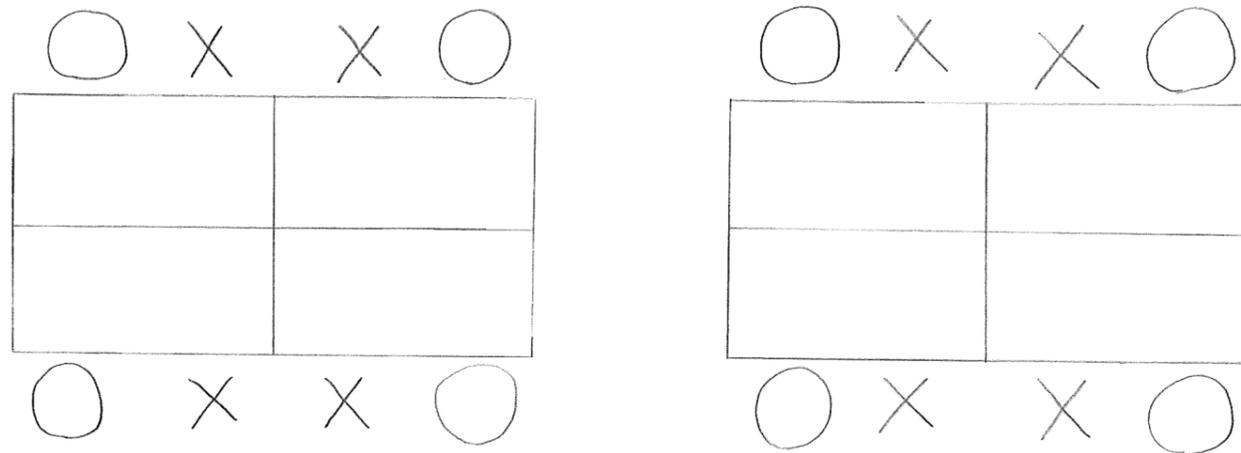
- ・アルジャーノンに花束を
- ・博士の愛した数式
- ・ヴェニスに死す
- ・坂の上の雲 など

学生が読みたいと思う本がたくさんある図書館はウィズコロナはもちろん、アフターコロナ時代にはもっと、学生にとって娯楽・夢を与える場となります。ここでは、学生としてのアイデアを挙げました。

今を大事にし、これからに生かせるもの

○ テーブルにフェイスシールドを設置

㊦



※・×は座ってはいけないところ  
・○は座って良いところ  
・テーブルの中にある線はフェイスシールド

・コロナ対策

フェイスシールドによって飛沫感染を防ぎながら前の人などと話すことができる。

・コロナ後でもできること

フェイスシールドで区切ることによって自分の場所を確保できる。  
そして、8つのイスのうち内側の4つのイスをとることによって自分の場所をいつも以上に使うことができる。